

大学番号：私151

注3

認可

[平成25年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

創価大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人創価大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 看護学部事務室

職名・氏名 事務長・竹 田 文 久

電話番号 042-691-9495

（夜間） 090-6195-1639

F A X 042-691-8506

e-mail kango@soka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1~4
2	授業科目の概要	5~8
3	施設・設備の整備状況, 経費	9
4	既設大学等の状況	10~11
5	教員組織の状況	12~25
6	留意事項に対する履行状況等	26
7	その他全般的事項	27~29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人創価大学

(2) 大学名 創価大学

(3) 大学の位置

〒192-8577
東京都八王子市丹木町一丁目236番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タシロ ヤスノリ) 田代 康則 (平成16年4月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヤマモト ヒデオ) 山本 英夫 (平成19年4月)	(ババ ヨシヒサ) 馬場 善久 (平成25年4月)	任期満了に伴う変更、平成25年4月1日 (25)
学部長	(ナカイヅミ アキヒコ) 中泉 明彦 (平成25年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	0人 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	80人 80 () []	— () []	80人 80 () []	— () []	1.02倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	276 () []	— () []	450 () []	— () []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	268 () []	— () []	445 () []	— () []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	99 () []	— () []	141 () []	— () []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	83 () []	— () []	82 () []	— () []		
入学定員超過率 B/A					1.03		1.02			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	[-] 83	[-] —	[1] 82	[-] —	
2年次	/		[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	[-] 83	[-] —	
3年次			/		[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	[-] —
4年次	/				[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	[-] —
計			[-] —	[-] —	[-] —	[-] 83	[1] 165		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	- 人	- 人	平成23年度	人	人		- %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	- 人	- 人	平成24年度	人	人		- %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	83 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	82 人	0 人	平成26年度	人	人		0 %
合 計	165 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
自然・数理・情報科目	数理科学	1前・後		2							兼2 兼3	担当辞退があり、兼2に変更(26)	
	統計学入門	1前・後		2							兼2 兼4	担当者を変更し、兼2に変更(26)	
	物理科学	1前・後		2							兼2		
	コンピュータ・リテラシー	1前	2								兼1		
	情報科学	1前・後		2							兼4		
	生命科学	1前・後		2			1				兼4 兼5	担当辞退があり、兼4に変更(25)	
	環境科学	1前・後		2							兼3		
	プログラミング	1前・後		2							兼2		
専門科目	人間のからだとこころ 基礎分野	構造機能学Ⅰ	1前	1			1					兼1	
		構造機能学Ⅱ	1後	1			1					兼4	
		生化学の基礎	1前		2		1						
		病態生理学	1後	2			1					兼2	
		栄養学	1後	2								兼1	
		診断治療学Ⅰ	2前	2			1					兼5	
		診断治療学Ⅱ	2後	2			1					兼10	
		薬理学	2前	2								兼1	
		心理学	2前	2								兼1	
		看護とリハビリテーション	2後	2								兼1	
健康と社会	人間関係とコミュニケーション	1前	1				2						
	健康と生活	1前	2				2		2				
	生命倫理	1後	2								兼2		
	社会保障・社会福祉論	2前	2								兼1		
	公衆衛生入門	2後	1					2		1			
	疫学・保健統計	3前	2					1					
看護の専門分野Ⅰ	看護学概論	1前	2				1						
	生活援助技術Ⅰ	1前	1					2		3			
	生活援助技術Ⅱ	1前	1					2		3			
	生活援助技術Ⅲ	1後	1					2		3			
	生活援助技術Ⅳ	1後	1					2		3			
	看護理論	1後	1				1						
	フィジカルアセスメント	1後	1				1	1		3			
	臨床看護技術Ⅰ	2前	1				1	1		3			
	臨床看護技術Ⅱ	2後	1				1	1		3			
	看護過程演習	2前	1				2	3		3			
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1				2	5	6	8			
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				3	4	6	8			
	看護の専門分野Ⅱ	成人看護学概論	2前	2				1					
成人看護急性期援助論Ⅰ		2後	1				1	1					
成人看護急性期援助論Ⅱ		3前	1				2	1	1	1			
成人看護慢性期援助論Ⅰ		2後	1					1					
成人看護慢性期援助論Ⅱ		3前	1				2	2	1	1			
成人看護学急性期実習		3前・後	3				1	1	1	1	兼1		
成人看護学慢性期実習		3前・後	3				1	1		1	兼2		
老年看護学科目	老年看護学概論	2前	2					1					
	老年看護援助論Ⅰ	2後	1					1		1	1		
	老年看護援助論Ⅱ	3前	1					1		1	1		
	老年看護学実習	3前・後	4					1	1	1	2	兼2	
小児看護学科目	小児看護学概論	2前	2				1		1				
	小児看護援助論Ⅰ	2後	1				1		1				
	小児看護援助論Ⅱ	3前	1				1		1		1		
	小児看護学実習	3前・後	2				1		1		1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教		助手
	母性看護学科目	母性看護学概論	2後	2				1				
		母性看護援助論Ⅰ	3前	1				1		2	1	
		母性看護援助論Ⅱ	3後	1				1		2	1	
		母性看護学実習	4前	2				1		2	1	
	精神看護学科目	精神看護学概論	2前	2			2					
		精神看護援助論	2後	2			2					
		精神看護学実習	3前・後	2			2					兼 1
	地域在宅看護学科目	地域在宅看護学概論	2後	2				2		1		
		地域在宅看護援助論Ⅰ	3前	1				2		1	1	
		地域在宅看護援助論Ⅱ	3後	1				2		1	1	
		地域在宅看護学実習	4前	2				2		1	1	
	国際看護学	国際保健学	2後	2				1				
国際看護学		1後		2			2					
国際看護特講a		1後		2			1					
国際看護特講b		1後		2			1					
国際看護特講c		1後		2			1					
国際看護研修	2前		2			3				1		
看護の統合と発展科目	キャリアプランニング基礎	1前	1			6	8	5	4			
	看護管理論	3前	2			1		1			兼 2	
	感染看護論	3前	1								兼 1	
	看護学研究方法論	3後	1			3						
	災害看護論	4前	1									
	卒業研究演習	4前	1			6	9	5	4			
	看護実践統合実習	4後	2			5	8	6	6	8		
	卒業論文	4後	2			6	9	6	4			
	医療連携論	3前		1			2					
	クリティカルケア論	4前		1				1		2		
	がん看護論	4前		1		2						
	リエゾン精神看護	4前		1		1						
	家族看護論	4後		1		3	2					
	生活習慣病予防と看護	4後		1			1		1			
	看護実践と倫理的課題	4後		1			3					
看護専門職論	4後		1		2		1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
64	54	0	118	64	54	0	118	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{118} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校舎敷地	262,997.08 m ²	0 m ²	0 m ²	262,997.08 m ²						
	運動場用地	108,423.08 m ²	0 m ²	0 m ²	108,423.08 m ²						
	小 計	371,420.16 m ²	0 m ²	0 m ²	371,420.16 m ²						
	そ の 他	371,779.61 m ²	0 m ²	0 m ²	371,779.61 m ²						
	合 計	743,199.77 m ²	0 m ²	0 m ²	743,199.77 m ²						
(2) 校 舎	専 用	166,016.18m ² 171,692.39 m² (113,030.22 m ²)	0 m ²	0 m ²	166,016.18m ² 171,692.39 m² (113,030.22 m ²)	新設校舎等以外の の竣工面積確定に伴う変更(26) 理科実験棟・福利厚生棟 ②の解体に伴う変更(26) 学生センターの用途精査 に伴う修正(26) 教育学部増築棟の計画面積 の変更(26)					
	共 用	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	79 127 室	演 習 室	92 135 室	実験実習室	12 室	情報処理学習施設	14 19 室 (補助職員 0人)	語学学習施設	1 6 室 (補助職員 0人)	大学全体 新校舎建設に伴い、当初 予定していた旧校舎の 使用を止めることと したため。(26)
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		看護学部 看護学科		27 28		室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
	看護学部	6,000 [1,200] 5,698 1,063 (5,000 [1,000])	75 [30] 70 30 (53 [23])	600 [300] (600 [300])	82 (82 68)	13,167 (13,167)	98 (98)				
	計	6,000 [1,200] 5,698 1,063 (5,000 [1,000])	75 [30] 70 30 (53 [23])	600 [300] (600 [300])	82 (82 68)	13167 (13,167)	98 (98)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	8,763.80 m ²		1,200 席		1,290,079 冊		大学全体				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	13,585.06 m ²		陸上競技場、野球場、ラグビー場、プール等								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には視聴覚 教材・電子ジャーナル・ データベースの整備 費（運用コスト含む） を含む。 図書購入費の開設年度 の増額修正は視聴覚 教材・資料の充実を図 つたため。(26)		
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	430千円	430千円	図書購入費	37,600千円	8,470千円 7,000千円	7,000千円			
	共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	356,420千円	2,000千円	2,000千円				
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、寄付金 等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		創 価 大 学						備 考			
既設学部等の名称		修業年限	入定員	編入定員	収容員	学位又は称号	平均定員超過率	開 設 年 度	所 在 地		
[学 部]		年	人	年次人	人		倍				
経済学部	経済学科	4	※200	—	950	学士 (経済学)	1.10	昭和46年	東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地	※平成26年度	
法学部	法律学科	4	※250	—	1,100	学士 (法学)	1.10	昭和46年		※平成25年度	
文学部	人間学科	4	※370	—	1,520	学士 (文学)	1.09	昭和46年		※平成25年度	
経営学部	経営学科	4	※200	—	950	学士 (経営学)	1.10	昭和51年		※平成26年度	
教育学部	教育学科	4	※80	—	360	学士 (教育学)	1.11	昭和51年		※平成25年度	
	児童教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.13	昭和51年			
工学部	情報システム工学科	4	※70	—	300	学士 (工学)	1.13	平成3年		※平成25年度	
	生命情報工学科	4	※50	—	240	学士 (工学)	1.09	平成3年		※平成25年度	
	環境共生工学科	4	60	—	240	学士 (工学)	1.11	平成15年			
看護学部	看護学科	4	※80	—	320	学士 (看護学)	1.02	平成25年		※平成25年度開設	
国際教養学部	国際教養学科	4	※80	—	320	学士 (国際教養学)	1.05	平成26年		※平成26年度開設	
[大学院] 〈博士前期課程〉										東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地	
経済学研究科	経済学専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.23	昭和50年			
法学研究科	法律学専攻	2	15	—	30	修士 (法学)	0.60	昭和50年			
文学研究科	英文学専攻	2	10	—	20	修士 (英文学)	0.20	昭和50年			
文学研究科	社会学専攻	2	10	—	20	修士 (社会学)	0.25	昭和50年			
文学研究科	教育学専攻	2	15	—	30	修士 (教育学)	0.66	昭和61年			
文学研究科	人文学専攻	2	8	—	16	修士 (人文学)	0.43	平成4年			
文学研究科	国際言語教育専攻	2	15	—	30	修士 (教育学)	0.66	平成21年			
工学研究科	情報システム工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.90	平成7年			
工学研究科	生命情報工学専攻	2	20	—	40	修士 (工学)	0.82	平成7年			
工学研究科	環境共生工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	0.72	平成19年			
[大学院] 〈博士後期課程〉											
経済学研究科	経済学専攻	3	5	—	15	博士 (経済学)	0.26	昭和52年			
法学研究科	法律学専攻	3	3	—	9	博士 (法学)	0.00	昭和52年			
文学研究科	英文学専攻	3	5	—	15	博士 (英文学)	0.13	昭和52年			
文学研究科	社会学専攻	3	5	—	15	博士 (社会学)	0.26	昭和52年			
文学研究科	教育学専攻	3	2	—	6	博士 (教育学)	0.83	平成元年			
文学研究科	人文学専攻	3	4	—	12	博士 (人文学)	0.00	平成6年			
工学研究科	情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学)	0.16	平成9年			
工学研究科	生命情報工学専攻	3	4	—	12	博士 (工学)	1.08	平成9年			
工学研究科	環境共生工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.66	平成19年			
[大学院] 〈専門職課程〉											
法務研究科	法務専攻	3	30	—	100	法務博士 (専門職)	0.76	平成16年			
教職研究科	教職専攻	2	25	—	50	法務博士 (専門職)	0.90	平成20年			
[通信教育部]									東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地		
経済学部		4	2,000	—	8,000	学士 (経済学)	0.15	昭和51年			
法学部		4	2,000	—	8,000	学士 (法学)	0.12	昭和51年			
教育学部		4	1,000	—	4,000	学士 (教育学)	0.69	昭和57年			
[別 科]											
	日本語研修課程	1	35	—	35		0.43	昭和51年			
	特別履修課程	1	40	—	40		0.60	平成16年			

大学の名称	創 価 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
現代ビジネス学科	2 年	150 人	— 年次人	300 人	短期大学士 (現代ビジ ネス)	1.07 倍	昭和60年	東京都八王子市 丹木町1丁目 236番地	
英語コミュニケーション学科	2	125	—	250	短期大学士 (英語コミュニ ケーション)	1.05	昭和60年		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学, 短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位), 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	ナカイズミアキヒロ 中泉 明彦	平成25年4月	構造機能学Ⅰ※ 構造機能学Ⅱ※ 生化学の基礎 病態生理学※ 診断治療学Ⅰ※ 診断治療学Ⅱ※ キャリアプランニング基礎※ 卒業研究演習 卒業論文 家族看護論※ がん看護論※						
専	教授	ムラシマ サイコ 村島 さい子	平成25年4月	成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護学慢性期実習<集中> キャリアプランニング基礎※ 看護管理論 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 看護専門職論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25、26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) 人間関係とコミュニケーション※ (平成25年度のみ担当)						
専	教授	オオガマ ノリマサ 大釜 徳政	平成26年4月	成人看護学概論 成人看護急性期援助論Ⅰ※ 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護学急性期実習<集中> 看護学研究方法論※ 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 がん看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ナガスマ タカミ 長沼 貴美	平成25年4月	健康と生活※ 小児看護学概論※ 小児看護援助論Ⅰ※ 小児看護援助論Ⅱ※ 小児看護学実習<集中> 看護学研究方法論※ 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 家族看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	教授	イガラシ アイコ 五十嵐 愛子	平成25年4月	人間関係とコミュニケーション※ 精神看護学概論 精神看護援助論※ 精神看護学実習<集中> リエゾン精神看護 看護実践統合実習<集中> 卒業研究演習 卒業論文 家族看護論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25、26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	教授	ホンダ ユウコ 本田 優子	平成26年4月	人間関係とコミュニケーション※ 健康と生活※ 精神看護学概論 精神看護援助論※ 精神看護学実習<集中> 看護学研究方法論※ 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 看護専門職論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						
兼任	講師	ホンダ ユウコ 本田 優子	平成25年4月	人間関係とコミュニケーション※ 健康と生活※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	ササキ サトシ 佐々木論	平成25年4月	疫学・保健統計 国際保健学 国際看護特講 a (平成25年度から3年ごとに担当) 国際看護研修<集中> 卒業研究演習 卒業論文 共通基礎演習 生命科学						
専	准教授	アキモト トシコ 秋元とし子	平成25年4月	看護学概論 看護理論 看護過程演習 基礎看護学実習 I <集中> 基礎看護学実習 II <集中> 国際看護学※ 国際看護特講 b (平成26年度から3年ごとに担当) 国際看護研修<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 看護実践と倫理的課題※ キャリアプランニング基礎※ (平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	ゴミ チホ 五味 千帆	平成25年4月	フィジカルアセスメント 臨床看護技術 I 臨床看護技術 II 看護過程演習 基礎看護学実習 I <集中> 基礎看護学実習 II <集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 看護実践と倫理的課題※ キャリアプランニング基礎※ (平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	ソエダ ユリコ 添田 百合子	平成25年4月	基礎看護学実習 II <集中> 成人看護慢性期援助論 I 成人看護慢性期援助論 II※ 成人看護学慢性期実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 生活習慣病予防と看護※ 看護実践と倫理的課題※ 基礎看護学実習 I <集中> (平成25、26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※ (平成26年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	タナカ ヒロコ 田中 博子	平成26年4月	成人看護急性期援助論Ⅰ※ 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護急性期実習<集中> 国際看護学※ 国際看護特講c(平成27年度から3年ごとに担当) 国際看護研修<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 基礎看護学実習Ⅰ<集中>(平成26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中>(平成26年度のみ担当) キャリアアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						
兼任	講師	タナカ ヒロコ 田中 博子	平成25年4月	国際看護学※						
専	准教授	ヒガシモリ ユカ 東森 由香	平成25年4月	老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ※ 老年看護援助論Ⅱ※ 老年看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 医療連携論※ 基礎看護学実習Ⅰ<集中>(平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中>(平成26年度のみ担当) キャリアアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	シムラ チツコ 志村 千鶴子	平成26年4月	母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ※ 母性看護援助論Ⅱ※<集中> 母性看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	オクヤマ ミキコ 奥山 みき子	平成25年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 地域在宅看護学概論※ 地域在宅看護援助論 I ※ 地域在宅看護援助論 II <集中> 地域在宅看護学実習 <集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 医療連携論※ 家族看護論※ 基礎看護学実習 I <集中> (平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習 II <集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※ (平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	准教授	フジタ ミエ 藤田 美江	平成25年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 地域在宅看護学概論※ 地域在宅看護援助論 I ※ 地域在宅看護援助論 II <集中> 地域在宅看護学実習 <集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 家族看護論※ 基礎看護学実習 I <集中> (平成25年度のみ担当) 基礎看護学実習 II <集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※ (平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	ハヤシ マリコ 林 真理子	平成25年4月	生活援助技術 I 生活援助技術 II 生活援助技術 III 生活援助技術 IV 看護過程演習 基礎看護学実習 I <集中> 基礎看護学実習 II <集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習 <集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※ (平成27年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	アオキ リョウコ 青木 涼子	平成25年4月	生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ フィジカルアセスメント 臨床看護技術Ⅱ 看護過程演習 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	ノウミ キョコ 能見 清子	平成25年4月	生活援助技術Ⅲ 生活援助技術Ⅳ 臨床看護技術Ⅰ 看護過程演習 基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 看護管理論 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	オオガマ ノブマサ 大金 信政	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護慢性期援助論Ⅱ※ 成人看護学急性期実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 クリティカルケア論 看護専門職論※ キャリアプランニング基礎※(平成25年度から3年ごとに演習担当)						
専	講師	タナカ ユカコ 田中 結花子	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 老年看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	サトウ ミカ 佐藤 美香	平成25年4月	小児看護学概論※ 小児看護援助論Ⅰ※ 小児看護援助論Ⅱ※ 小児看護学実習<集中> 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成25、26年度のみ担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> (平成26年度のみ担当) キャリアプランニング基礎※(平成26年度から3年ごとに演習担当)						
専	助教	ミキ タマミ 三木 珠美	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 成人看護急性期援助論Ⅱ※ 成人看護学急性期実習<集中> 看護実践統合実習<集中>						
専	助教	オカモト キミエ 岡本 きみ江	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 成人看護学慢性期実習<集中> 看護実践統合実習<集中>	専	助教	オカモト キミエ 岡本 きみ江	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 成人看護学慢性期実習<集中> 看護実践統合実習<集中>	平成27年4月就任予定であったが、今松友紀助教の就任が遅延することになったため、その交代として時期を早めて就任(25)
専	助教	マツダイラ ユカ 松平 裕佳	平成26年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> (平成26年度から担当) 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 老年看護援助論Ⅰ※ 老年看護援助論Ⅱ※ 老年看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						
専	助教	カタオカ ニウカ 片岡 優華	平成27年4月	基礎看護学実習Ⅰ<集中> 基礎看護学実習Ⅱ<集中> 母性看護援助論Ⅰ※ 母性看護援助論Ⅱ※<集中> 母性看護学実習<集中> 卒業研究演習 看護実践統合実習<集中> 卒業論文 キャリアプランニング基礎※(平成27年度から3年ごとに演習担当)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	タナカ リエ 田中 利枝	平成25年4月	健康と生活※ 基礎看護学実習Ⅰ ＜集中＞ 基礎看護学実習Ⅱ ＜集中＞ 母性看護援助論Ⅰ ※ 母性看護援助論Ⅱ ※＜集中＞ 母性看護学実習＜ 集中＞ 卒業研究演習 看護実践統合実習 ＜集中＞ 卒業論文 キャリアプランニ ング基礎※（平成 25年度から3年ごと に演習担当）						
専	助教	イママツ ユキ 今松 友紀	平成25年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 基礎看護学実習Ⅰ ＜集中＞ 基礎看護学実習Ⅱ ＜集中＞ 地域在宅看護学概 論※ 地域在宅看護援助 論Ⅰ※ 地域在宅看護援助 論Ⅱ＜集中＞ 地域在宅看護学実 習＜集中＞ 卒業研究演習 看護実践統合実習 ＜集中＞ 卒業論文 生活習慣病予防と 看護※ キャリアプランニ ング基礎※（平成 27年度から3年ごと に演習担当）	専	助教	イママツ ユキ 今松 友紀	平成26年4月	健康と生活※ 公衆衛生入門※ 基礎看護学実習Ⅰ ＜集中＞ 基礎看護学実習Ⅱ ＜集中＞ 地域在宅看護学概 論※ 地域在宅看護援助 論Ⅰ※ 地域在宅看護援助 論Ⅱ＜集中＞ 地域在宅看護学実 習＜集中＞ 卒業研究演習 看護実践統合実習 ＜集中＞ 卒業論文 生活習慣病予防と 看護※ キャリアプランニ ング基礎※（平成 27年度から3年ごと に演習担当）	現職の諸事情により、就任が1 年遅延(25)
	兼任				兼任	講師	イママツ ユキ 今松 友紀	平成25年4月	健康と生活※	就任が1年遅れるので、平成25 年度は兼任講師として科目を担 当(25)
兼任	教授	コヤマ ミツル 小山 満	平成25年4月	美術						
兼任	教授	セキガワ ヨシヒト 関川 佳人	平成25年4月	体育実技 体育講義						
兼任	教授	イケダ ヒデヒコ 池田 秀彦	平成25年4月	法学概説						
兼任	教授	イノウエ アヤコ 井上 アヤ子	平成25年4月	体育講義 体育実技						
兼任	教授	ワダ コウイチ 和田 光一	平成25年4月	社会学			後任なし			「社会学」の担当辞退。同科目 は他に5名の担当者がいるの で、教育上は支障ない。(26)
兼任	教授	コグレ シンイチ 木暮 信一	平成25年4月	生命倫理※ 生命科学	兼任	教授	コグレ シンイチ 木暮 信一	平成25年4月	生命倫理※ 生命科学	「生命科学」の担当辞退。同科目は他に 複数の担当者がいるので、教育上支障 ない。(25)
兼任	教授	ハスヌマ アキコ 蓮沼 昭子	平成25年4月	言語論						
兼任	教授	ミズタニ マコト 水谷 誠	平成25年4月	文学						
兼任	教授	サカモト タツロウ 坂本 辰朗	平成25年4月	大学論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	マガリ ハルオ 鈎 治雄	平成25年4月	心理学入門	兼担	教授	マガリ ハルオ 鈎 治雄	平成25年4月	心理学入門	履修者増加のため、「心理学入門」の開講数を増やし、増加分のクラスを新たに2名の教員で担当。(26)
					兼任	講師	オザワ リエコ 小澤 理恵子	平成26年4月	心理学入門	
					兼任	講師	イ ファジョン 李 和貞	平成26年4月	心理学入門	
兼担	教授	ババ ヨシヒサ 馬場 善久	平成25年4月	統計学入門	兼担	教授	コバヤシ コウジ 小林 孝次	平成26年4月	統計学入門	馬場教授の「統計学入門」の担当辞退に伴う担当者の変更。(26)
					兼担	准教授	ウスイ タケヒロ 碓井 健寛	平成26年4月	統計学入門	
兼担	教授	フジタ ヒサノリ 藤田 尚則	平成25年4月	日本国憲法						
兼担	教授	ナカジマ カズエキ 中嶋 一行	平成25年4月	生命科学						
兼担	教授	タナカ リウヘイ 田中 亮平	平成25年4月	文学						
兼担	教授	スギヤマ ユキオ 杉山 由紀男	平成25年4月	共通基礎演習						
兼担	教授	クニシマ ヒロユキ 國島 弘行	平成25年4月	経営学						
兼担	教授	カンダチ コウイチ 神立 孝一	平成25年4月	人間教育論						
兼担	教授	テラニシ ヒロトモ 寺西 宏友	平成25年4月	人間教育論						
兼担	教授	ハヤシ アキラ 林 亮	平成25年4月	社会学						
兼担	教授	サカベ ソウイチ 坂部 創一	平成25年4月	情報科学						
兼担	教授	ヒグチ マサル 樋口 勝	平成25年4月	共通基礎演習						
兼担	教授	ヨシカワ セイジ 吉川 成司	平成25年4月	心理学入門	兼担	准教授	タムラ シュウイチ 田村 修一	平成25年4月	心理学 心理学入門	吉川教授の担当辞退に伴い、田村准教授に「心理学入門」の担当を追加。(26)
兼担	教授	コジマ ノブヤス 小島 信泰	平成25年4月	共通基礎演習 宗教学						
兼担	教授	マルタ シンサク 丸田 晋策	平成25年4月	生命科学						
兼担	教授	ナカヤマ マシン 中山 雅司	平成25年4月	共通基礎演習						
兼担	教授	クボタ ヒデアキ 久保田 秀明	平成25年4月	体育講義 体育実技						
兼担	教授	セキ アン 関 篤志	平成25年4月	生命科学※						
兼担	教授	タマイ ヒデアキ 玉井 秀樹	平成25年4月	社会学						
兼担	教授	カンザカ ジュンイチ 勘坂 純市	平成25年4月	現代文明論						
兼担	教授	チエ ヨンウン 崔 龍雲	平成25年4月	物理科学						
兼担	教授	ヤマナカ マサキ 山中 正樹	平成25年4月	文学						
兼担	教授	キノシタ カオル 木下 薫	平成25年4月	人間教育論	兼担	准教授	サガエ ミツノリ 寒河江 光徳	平成25年4月	人間教育論	担当者的変更(25)
兼担	准教授	アツミ マサヤス 渥美 雅保	平成25年4月	情報科学	兼担	教授	アツミ マサヤス 渥美 雅保	平成25年4月	情報科学	平成26年4月教授に昇任。(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	コンドウ カズノリ 近藤 和典	平成25年4月	生命科学※						
兼任	准教授	ニイフ タカシ 新津 隆士	平成25年4月	環境科学						
兼任	准教授	イシイ ヨシオ 石井 良夫	平成25年4月	物理科学						
兼任	准教授	タムラ シュウイチ 田村 修一	平成25年4月	心理学	兼任	准教授	タムラ シュウイチ 田村 修一	平成25年4月	心理学 心理学入門	吉川教授の担当辞退に伴い、田村准教授に「心理学入門」の担当を追加。(26)
兼任	准教授	ヤマダ リュウサク 山田 竜作	平成25年4月	共通基礎演習 政治学	兼任	教授	ヤマダ リュウサク 山田 竜作	平成25年4月	共通基礎演習 政治学	平成26年4月 教授に昇任。(26)
兼任	准教授	イダ ジュンイチ 井田 旬一	平成25年4月	環境科学	兼任	教授	イダ ジュンイチ 井田 旬一	平成25年4月	環境科学	平成26年4月 教授に昇任。(26)
兼任	准教授	イトウ タカノ 伊藤 貴雄	平成25年4月	倫理学	兼任	講師	カスガ ジュンイチ 春日 潤一	平成25年4月	倫理学	「倫理学」の担当辞退。兼任の春日講師の担当コマ数の増加で対応(25)
兼任	准教授	ムラカミ ノブアキ 村上 信明	平成25年4月	歴史						
兼任	准教授	クワバラ ヒクター シンイチ 桑原ヒクター伸一	平成25年4月	人間教育論	兼任	講師	アト・リュー・ゲバート A. Gebert	平成26年4月	人間教育論	桑原准教授の在外研究派遣のため、平成26年度のみ担当者を変更。(26)
兼任	准教授	スギモト イチロウ 杉本 一郎	平成25年4月	プログラミング	兼任	教授	スギモト イチロウ 杉本 一郎	平成25年4月	プログラミング	平成26年4月 教授に昇任。(26)
兼任	講師	クメカワ ノリカズ 久米川 宣一	平成25年4月	環境科学						
兼任	講師	サメシマ トシアキ 鮫島 俊朗	平成25年4月	構造機能学Ⅰ※						
兼任	講師	イシカワ テルコ 石川てる代	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	ネモト マサヒト 根本 正史	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※ 病態生理学※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	ナガタ ヨウイチ 永田 洋一	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※						
兼任	講師	クニトモ マユミ 國友 万由美	平成25年4月	構造機能学Ⅱ※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	カシオ ノブエキ 加塩 信行	平成25年4月	病態生理学※ 診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	コバヤシ ヒロユキ 小林 広幸	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	ショウジ マサアキ 庄司 正昭	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	コンドウ カズヤ 近藤 和也	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	エト カヨコ 江渡加代子	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	ヒラサワ リュウト 平澤 龍登	平成26年4月	診断治療学Ⅰ※						
兼任	講師	ゴトウ シンタカ 後藤 智隆	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	イガラシ ユキコ 五十嵐 有紀子	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※	兼任	講師	フジイ ヒロシ 藤井 裕士	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※	兼任の五十嵐講師の就任辞退に伴う担当者の変更。(26)
兼任	講師	ヒロセ ワタル 廣瀬 恒	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	サカイ ヒデキ 酒井 英樹	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	キウチ ケンジロウ 木内健二郎	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	アライ カツヒロ 新井 勝大	平成26年4月	診断治療学Ⅱ※						
兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也	平成25年4月	生命倫理※ 宗教学	兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也	平成25年4月	生命倫理※ 宗教学 哲学	兼任の浦講師の退任に伴い、山崎講師に「哲学」の担当追加(25)
兼任	講師	ホリグチ ヨシエ 堀口 よし江	平成26年4月	薬理学						
兼任	講師	タカヤマ ヤスノブ 高山 康信	平成26年4月	社会保障・社会福祉論						
兼任	講師	ナカムラ シン 中村 信	平成26年4月	看護とリハビリテーション						
兼任	講師	イトウ ミワコ 伊藤 美和子	平成27年4月	感染看護論※						
兼任	講師	ムトウ クミコ 武藤久美子	平成27年4月	感染看護論※						
兼任	講師	スズキ ケイコ 鈴木 恵子	平成28年4月	災害看護論						
兼任	講師	タカク ヤスミ 高久 泰文	平成25年4月	日本国憲法	兼任	教授	ハナミ ツネエキ 花見 常幸	平成25年4月	日本国憲法	兼任の高久講師の退任に伴う担当者の変更(25)
兼任	講師	ワダ マサヒコ 和田 正彦	平成25年4月	歴史						
兼任	講師	スズキ マサトシ 鈴木 正敏	平成25年4月	宗義学 体育講義						
兼任	講師	クボ サチオ 久保 幸夫	平成25年4月	教養地理学						
兼任	講師	タカオ シュンイチ 鷹尾 俊一	平成25年4月	美術						
兼任	講師	クリハラ トシエ 栗原 淑江	平成25年4月	歴史						
兼任	講師	フジオカ ユウジロウ 藤岡 祐次郎	平成25年4月	政治学						
兼任	講師	オオグロ マサノブ 大黒 正伸	平成25年4月	社会学						
兼任	講師	ウラ ヒデオ 浦 英雄	平成25年4月	哲学	兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也	平成25年4月	生命倫理※ 宗教学 哲学	兼任の浦講師の退任に伴い、山崎講師に「哲学」の担当追加(25)
兼任	講師	ウヂノ ビシヨウジ B.カンデル	平成25年4月	経営学	兼任	講師	ウメダ トオル 梅田 徹	平成26年4月	経営学	平成26年3月 カンデル講師の退任に伴い、平成26年度より担当者を変更。 (26)
兼任	講師	ミツダ タケシ 満田 剛	平成25年4月	歴史			後任なし			平成26年3月 満田講師の退任。「歴史」は他に担当教員が7名いるため、支障はない。(26)

<共通>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	アリサト ノリミツ 有里 典三	平成25年4月	共通基礎演習 社会学						
兼任	教授	サカモト ミキオ 坂本 幹雄	平成25年4月	共通基礎演習 経済学						
兼任	教授	キムラ フミコ 木村 富美子	平成25年4月	コンピュータ・リ テラシー						
兼任	准教授	リュウ ケイセイ 劉 継生	平成25年4月	情報科学						
兼任	准教授	ヒダカ ヨシタカ 日高 吉隆	平成25年4月	言語論						
兼任	准教授	シミズ ツヨシ 清水 強志	平成25年4月	共通基礎演習 社会学						
兼任	講師	ヤマシタ ユミコ 山下 由美子	平成25年4月	文章表現法						
兼任	講師	ヤマモト シダゴ 山本 成代	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II 英語A I 英語A II	兼任	准教授	ヤマモト シダゴ 山本 成代	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II 英語A I 英語A II	平成26年4月 准教授に昇任(26)
兼任	講師	ジョナソ ボリック J. Bolick	平成25年4月	Professional English Intermediate I Professional English Intermediate II						
兼任	講師	カイヌマ タダシ 開沼 正	平成25年4月	歴史※						
兼任	講師	ニシダ サトシ 西田 哲史	平成25年4月	歴史	兼任	准教授	ニシダ サトシ 西田 哲史	平成25年4月	歴史	平成26年4月 准教授に昇任(26)
兼任	講師	カンザカ イズミ 勘坂 泉	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II						
兼任	講師	ヴァンダー ハンスフォード V. Hansford	平成25年4月	English Communication Elementary I English Communication Elementary II						
兼任	講師	コイケ ソウ 小池 惣	平成25年4月	英語B I 英語B II						
兼任	講師	トミオカ ヒロコ 富岡 比呂子	平成25年4月	共通基礎演習						
兼任	講師	モチヅキ コウゾウ 望月 光三	平成25年4月	数理科学						
兼任	講師	ミヤモト ツトム 宮本 勉	平成25年4月	プログラミング 情報科学						
兼任	講師	フクムロ ミツヤ 福室 満哉	平成25年4月	経営学						
兼任	講師	デルバート カーン D. Kern	平成25年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	兼任	講師	デルバート カーン D. Kern	平成25年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	年次進行による履修者増加のため、平成26年度よりTest Preparation Intermediate TOEIC I、同IIの開講数を増やし、増加分のクラスを新たに2名の教員で担当。(26)
					兼任	講師	ジェイミー パードン J. Purdon	平成26年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	
					兼任	講師	ジェイ レイモンド シン ガー J. Singer	平成26年4月	Test Preparation Intermediate TOEIC I Test Preparation Intermediate TOEIC II	
兼任	講師	コバヤシ マサヒロ 小林 正博	平成25年4月	宗教学 歴史※						
兼任	講師	オオツカ ユキオ 大塚 由紀夫	平成25年4月	音楽						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	オグラ ユウジ 小倉 裕児	平成25年4月	歴史※	兼任	教授	オグラ ユウジ 小倉 裕児	平成25年4月	歴史※	平成25年4月 本学の専任教授に就任(25)
兼任	講師	アベ ショウキチ 阿部 昇吉	平成25年4月	文学						
兼任	講師	イケダ カズコ 池田 和子	平成25年4月	英語B I 英語B II						
兼任	講師	カンダ アキノブ 神田 明延	平成25年4月	英語C						
兼任	講師	カンダ レイコ 神田 玲子	平成25年4月	英語C						
兼任	講師	タイラ スナオ 平良 直	平成25年4月	宗教学						
兼任	講師	フカオ カツトシ 深尾 勝利	平成25年4月	英語B I 英語B II						
兼任	講師	カドカワ カズオ 門川 和男	平成25年4月	数理科学	兼任	講師	ノヰキキ カクヨ 野崎 華世	平成25年4月	数理科学	兼任の門川講師の退任に伴う 担当者の変更 (25)
兼任	講師	アベ リュウイチ 阿部 隆一	平成25年4月	数理科学	兼任	講師	アベ リュウイチ 阿部 隆一	平成25年4月	数理科学	平成26年3月 野崎講師退任のため、平成26年度より兼任の阿部講師の担当コマ数増加で対応。(26)
兼任	講師	ハザマ トシユキ 狭間 敏行	平成25年4月	英語A I 英語A II						
兼任	講師	カスガ ジュンイチ 春日 潤一	平成25年4月	倫理学						
兼任	講師	アベ リュウイチ 阿部 隆一	平成25年4月	数理科学						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇学部 △学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	9	6	6	27	6	9	6	6	27	65	2
(4)	(7)	(5)	(2)	(18)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	該当なし		
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

ア) 創価大学ファカルティ・ディプロップメント委員会（以下、「全学FD委員会」という。関係規程添付）

イ) 看護学部FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

ア) 全学FD委員会開催 平成25年4月23日、10月1日、平成26年2月4日、4月29日：看護学部出席者各1名

イ) 看護学部FD委員会 4月、6・7月（実習運営委員会と合同）開催：出席者各5名

c 委員会の審議事項等

ア) 全学FD委員会

- ・ シラバスのより一層の活用・充実による教育の質保証に関する進捗報告について
- ・ 授業の収録公開促進WGの設置について
- ・ 学士課程教育機構FDセミナー・FDフォーラム開催について
- ・ 役職者（学部長以上）の授業公開について
- ・ 新任教員スタートアップセミナーについて
- ・ 「シラバスの到達目標の共有化による授業改善」について
- ・ 授業アンケートについて など

イ) 看護学部FD委員会

- ・ 実習施設との勉強会の開催について
- ・ 学外の教育ワークショップ等への派遣について
- ・ 看護学部における授業の到達目標の共有化と評価方法について など

② 実施状況

a 実施内容

ア) 全学FD委員会

- ・ 学士課程教育機構の主催によるFDセミナーを2013年度は6回開催した。
- ・ 2013年12月14日に、(第11回)FDフォーラムを開催した。
- ・ 学習効果を向上させるため、授業の録画収録を順次進めている。
- ・ 役職者(学部長以上)の授業公開を実施した。
- ・ 新任教員スタートアップセミナーを年3回開催した。
- ・ 授業アンケートを、前期・後期末に実施し、結果及び分析を共有している。

イ) 看護学部FD委員会

- ・ 実習施設の指導者と教員との勉強会を、「基礎看護学実習I」の前に本学で開催した。(6月)
出席者: 教員21名、施設29名
- ・ 臨地実習施設において、本学の看護学実習について、実習指導者と勉強会を持った。(2施設)
- ・ 学外の教育ワークショップ等へ教員の派遣を行った。
- ・ 看護系大学団体の主催する研修会に派遣した。(新規入会につき、大学教育の動向を把握)

b 実施方法

- ・ FDセミナー・FDフォーラム等のFD活動には、年3回以上の参加を全教員に義務付けながら、参加を促している。また、参加状況については、教授会に報告されている。
- ・ 看護学部
日本看護系大学協議会主催の教育セミナーに教員4名を派遣した
- ・ 基礎看護学実習Iの事前の研修会は、実習運営委員会との共催で行った。
- ・ 臨地実習施設の実習指導者勉強会は、本学の実習教育についての概要の説明を施設に出向き行った。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・ 新任教員のためのスタートアップセミナー3回開催: 出席率70%
- ・ 学士課程教育の充実に関するセミナー6回開催: 出席率70%
- ・ 看護学部
基礎看護学実習Iに関連した勉強会: 出席率100%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 共通科目では、科目担当者会議で到達目標や授業計画、内容について、実際のシラバスを提示しあい、意見交換を行った。その結果、到達目標の記述を「現実的かつチャレンジングなレベル」に設定することを、2014年度から適用することとなった。
専門科目は、共通科目に倣い、シラバスに記載する到達目標のレベル設定や記載方法を検討している。
授業評価については、前期・後期の授業アンケート、授業収録アンケート結果の提示があり、結果の分析を共有するなどした。
- ・ 全学のFD活動に参加し他学部教員との交流から、共通科目における看護学部生の学修への取組み等を知る機会となり、学生への理解が深まった。課題の提出時期についても、できるだけ重ならないように配慮する見通しが得られた。
- ・ 全学のポートフォリオを学ぶプログラムに参加し、2科目の授業で導入に至った。
- ・ 基礎看護学実習Iの成績評価をABC評価(6段階)からPF評価(2段階)に変更した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有(前期・後期授業終了時に実施した: 実施率100%)

b 教員や学生への公開状況, 方法等

各科目のアンケート結果は、Web上の各科目のシラバス閲覧ページで学内限定で公開された。
大学共通科目全体のアンケート集計結果は、大学HP上で公開されている。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設し1年が経過した。申請時の計画通り教育課程を展開し、20専門科目を開講した。初めての実習科目(1科目)では、「生命の尊厳や生きる力を引き出す看護」の基礎的な学びが得られた。また、本学が目指す「グローバルマインドをもった看護師の育成」については、国際看護科目を3科目開講した。海外からの招聘教員による授業の実施や、海外研修(28名参加)を通し、異文化理解を進めることができた。今後も、設置の趣旨・目的を達成できるよう教育活動に努めてまいりたい。

学生指導の面では、アドバイザー制により、個々の学生に対する学習上の課題の早期発見とそれへの対応ができた。

平成26年度の志願倍率は、定員80名に対し志願者総数は450名で、5.6倍であった。入学者は82名(男子11名)で、定員超過率は1.02倍であった。順調に推移していると考えている。引き続き、アドミッションポリシーを重視し、学生募集を推進していきたい。

② 自己点検・評価報告書

全学的な取り組みとして、看護学部では、2013年4月～8月までの期間(開学年度前期)について点検報告した。

a 公表(予定)時期

・平成26年4月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開(平成26年4月)

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成26年4月20日)

[2. 校舎等建物の面積を減じようとする場合及び建築計画が遅延する場合の様式例]

建築等設置計画変更書

平成25年度開設

創価大学 看護学部 看護学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
教育学部増築棟 理科系実験棟 福利厚生棟②	0 m ² 393.40 m ² 1,086.99 m ²	1,611.54 m ² 0 m ² 0 m ²
<ol style="list-style-type: none"> 1. 認可申請時に建設予定がなかった教育学部棟の増築棟を、理科系実験棟の機能を備えて建設することに伴う変更。 2. 認可申請時に解体予定がなかった理科系実験棟及び福利厚生棟の解体に伴う変更。 福利厚生棟（保健センター）の機能は、計画どおり新総合教育棟（中央教育棟）が完成し、その中に含まれているため支障はない。 		

(注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。

ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

改正

平成22年3月27日規程第53号

平成23年9月13日規程第11号

創価大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(趣旨)

第1条 本学に、教員の教育研究活動の向上を目的として不断に検討を行い、その改善、充実を図るために、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる教員の教育研究活動の改善、充実の方策に関する事項を審議する。

- (1) 授業の内容及び改善の方策に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関する事項
- (4) その他委員会が必要と認めた事項

(構成)

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長の指名する副学長または副学長補
- (2) 教務部長及び教務部副部長
- (3) 各学部長
- (4) 学士課程教育機構長
- (5) 教育・学習活動支援センター長
- (6) 教務部事務部長
- (7) 学長が委嘱する教職員若干名

2 委員長は、前項第1号の委員をあてる。委員長に支障のあるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(任期)

第4条 委員の任期は、職務上委員となるものを除き2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 会議は、委員長が必要と認めたとときに招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決定する。

(専門委員会)

第6条 委員会は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員長及び委員は、委員会の議を経て、学長が任命する。

3 専門委員会の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学事部学士課程教育機構事務室が担当する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月27日規程第53号)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年9月13日規程第11号)

この規程は、平成23年9月13日から施行し、平成23年9月1日に遡及して適用する。